

Systemwalker Centric Manager 13.0



Systemwalker Network Manager プラグイン説明書

まえがき

本書の目的

本書は、Systemwalker Centric Managerの統合コンソールに追加インストールする、Systemwalker Network Managerプラグインについて説明しています。

本書の読者

本書は、Systemwalker Centric Managerの統合コンソールに、Systemwalker Network Managerプラグインを追加インストールして利用する方を対象としています。

本書をお読みにする前に、“Systemwalker Centric Manager 解説書”、及び“Systemwalker Network Manager 使用手引書”をお読みにし、統合コンソールとSystemwalker Network Managerクライアント機能の概要を理解しておくことが必要です。

略語表記について

- Microsoft® Windows Server™ 2003, Standard Edition、Microsoft® Windows Server™ 2003, Enterprise EditionおよびMicrosoft® Windows Server™ 2003, Datacenter Editionを“Windows Server™ 2003”と略しています。
- Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system、Microsoft® Windows® 2000 Server operating systemおよびMicrosoft® Windows® 2000 Advanced Server operating systemを“Windows® 2000”と略しています。
- Microsoft® Windows® XP ProfessionalおよびMicrosoft® Windows® XP Home Editionを“Windows® XP”と略しています。
- Solaris™ オペレーティングシステムを“Solaris”と略しています。
- Solaris、Linux上で動作するSystemwalker Centric Managerを、“UNIX版Systemwalker Centric Manager”または“UNIX版”と略しています。

輸出管理規制について

本ドキュメントを輸出または提供する場合は、外国為替および外国貿易法および米国輸出管理関連法規等の規制をご確認の上、必要な手続きをおとり下さい。

平成18年 4月

改版履歴

平成18年 4月 初版

商標について

APC、PowerChuteは、AMERICAN POWER CONVERSION社の登録商標です。

ARCserveは、米国Computer Associates International, Inc. の登録商標です。

Ethernetは、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。

HP-UXは、米国Hewlett-Packard社の登録商標です。

IBM、AIX、AIX 5Lは、IBM Corporationの商標です。

Intel、Itaniumは、米国およびその他の国におけるIntel Corporationまたはその子会社の商標または登録商標です。

LaLaVoice は、株式会社東芝の商標です。

LANDeskは、米国およびその他の国におけるLANDesk Group, Ltdとその子会社の商標または登録商標です。

Linuxは、Linus Torvalds氏の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

MC/ServiceGuardは、Hewlett-Packard Companyの製品であり、著作権で保護されています。

Microsoft、MS、MS-DOS、Windows、Windows NT、Visual Basic、Visual C++およびMicrosoft Cluster Serverは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

NEC、SmartVoiceは、日本電気株式会社の商標または登録商標です。

Netscape、Netscape の N および操舵輪のロゴ、Netscape Navigator、Netscape Communicatorは、米国およびその他の国における Netscape Communications Corporation 社の登録商標です。

Oracleは、米国ORACLE Corporationの登録商標です。

Palm、Palm OS、HotSyncは、PalmSource Inc. の商標です。

Red Hat、RPMおよびRed Hatをベースとしたすべての商標とロゴは、Red Hat, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Sun、Sun Microsystems、サンのロゴマーク、Sun/Solaris/Java に関連するすべての商標およびロゴマークは、米国 Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Sun、SunClusterは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc. の商標または 登録商標です。

Symantec、Symantecロゴ、Norton AntiVirusは、SymantecCorporationの米国における登録商標です。

Tcl/Tkは、カリフォルニア大学、サン・マイクロシステムズ社、Scriptics社他が作成したフリーソフトです。

TRENDMICRO、Trend Micro Control Manager、Trend Virus Control System、TVCS、InterScan、ウイルスバスター、INTERSCAN VIRUSWALL、eManagerは、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。

Turbolinux及びターボリナックスは、ターボリナックス株式会社の商標または登録商標です。

UNIXは、X/Openカンパニーリミテッドが独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。

UXP、Systemwalker、Interstage、Symfowareは、富士通株式会社の商標です。

VERITAS、VERITAS SOFTWARE、VERITASロゴ、VERITAS Cluster Serverおよびその他のVERITAS製品は、米国および各国のVERITAS Software Corporationの商標または登録商標です。

VirusScanおよびNetShieldは、米国Network Associates社および関連会社の商標または登録商標です。

Xiino、Palmscape、イリンクスは、株式会社イリンクスの商標です。
その他の製品名は、各社の商標または登録商標です。

Microsoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。

All Rights Reserved, Copyright © 富士通株式会社 1995-2006
All Rights Reserved, Copyright © 株式会社PFU 1995-2006
Portions Copyright © Contributors to ISODE Project
Portions Copyright © 1983-1994 Novell, Inc., All Rights Reserved.
JavaChart™ Copyright © 1996-1997 Visual Engineering, Inc. All Rights Reserved
HashJava GNU Library General Public License
Portions © 1994-1996 Attachmate Corporation. All Rights Reserved.

本書の構成

本書は、1章～3章および付録から構成されています。本書は、1章から3章を順にお読みください。付録は必要に応じてお読みください。

第1章 [概要](#)

Systemwalker Network Managerプラグインの概要について説明します。

第2章 [導入手順](#)

Systemwalker Network Managerプラグインの導入手順について説明します。

第3章 [使用方法](#)

Systemwalker Network Managerプラグインの使用方法について説明します。

付録A [メッセージリファレンス](#)

Systemwalker Network Managerプラグインが出力するメッセージについて説明します。

本書の読み方

マニュアルの記号について

マニュアルでは以下の記号を使用しています。



注意

特に注意が必要な事項を説明しています。



参考

知っておくと便利な情報を説明しています。

目次

第1章 概要	1
1.1 プラグインの役割	2
1.2 プラグインの動作	3
第2章 導入手順	4
2.1 インストール	5
第3章 使用方法	6
3.1 統合コンソールを起動する	7
3.2 Sytemwalker Network Managerクライアントを起動する	8
付録A メッセージリファレンス/保守	9
A.1 統合コンソールの通知履歴に表示されるメッセージ	9
A.2 Systemwalker Network Managerクライアントが表示するメッセージ	12

第1章 概要

本章では、Systemwalker Network Managerプラグインの概要を説明します。

1.1 プラグインの役割

Systemwalker Network Managerプラグインは、Systemwalker Centric Managerの統合コンソールから、Systemwalker Network Managerクライアント画面を起動する為のプラグインです。

本プラグインを統合コンソールに追加インストールすることで、Systemwalker Centric Managerが管理しているホストからSystemwalker Network Managerの運用管理サーバを選択することによって、複数の拠点で管理しているネットワークを単一のクライアントから確認できます。

1.2 プラグインの動作

Systemwalker Network Manager プラグインをインストールすると、統合コンソールのランチャーに、「Systemwalker Network Manager」－「Systemwalker Network Manager クライアント」が追加され、統合コンソールからSystemwalker Network Managerクライアントが起動できるようになります。

統合コンソールからSystemwalker Network Managerクライアントを起動する際には、統合コンソールが保持しているサーバの情報を、Systemwalker Network Managerクライアントに受け渡して起動します。

統合コンソールから起動されたSystemwalker Network Managerクライアントは、Systemwalker Network Managerプラグインから受け取った情報を利用して、Systemwalker Network Managerの運用管理サーバに接続します。

第2章 導入手順

本章では、Systemwalker Network Managerプラグインの導入手順について説明します。



2.1 インストール

以下の手順でSystemwalker Network Managerプラグインをインストールします。

1. Systemwalker技術情報ホームページのSystemwalker Centric Manager 統合コンソールプラグイン一覧から、Systemwalker Network Managerプラグインをダウンロードします。
2. Systemwalker Network Managerプラグインに添付されている、適用手順書 (readme.txt) に従って適用します。

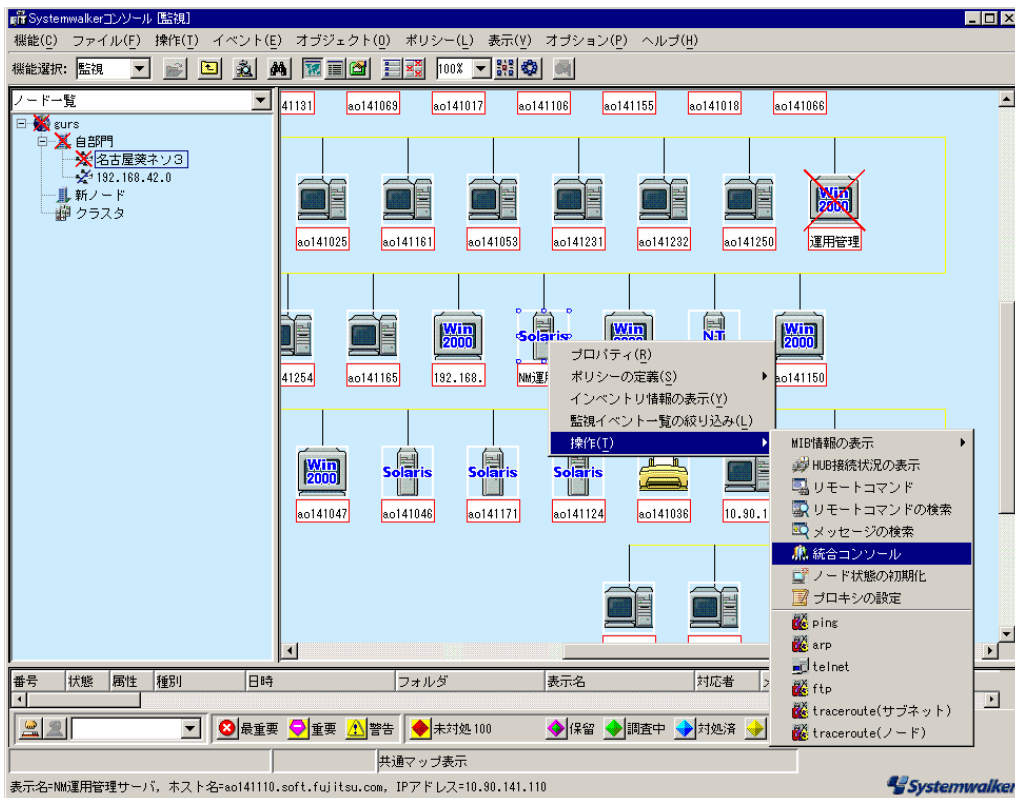
第3章 使用方法

本章では、統合コンソールから、Systemwalker Network Managerクライアントを起動する手順について説明します。

3.1 統合コンソールを起動する

以下の手順で統合コンソールを起動します。

1. Systemwalker Centric Managerの「Systemwalker コンソール」を起動します。
2. 監視マップで、NMクライアントを接続したいサーバを選択します。
3. 右クリックで表示されるポップアップメニューから、「操作」 - 「統合コンソール」、またはメニューから「操作」 - 「指定オブジェクト」 - 「統合コンソール」を実行し、統合コンソールを起動します。

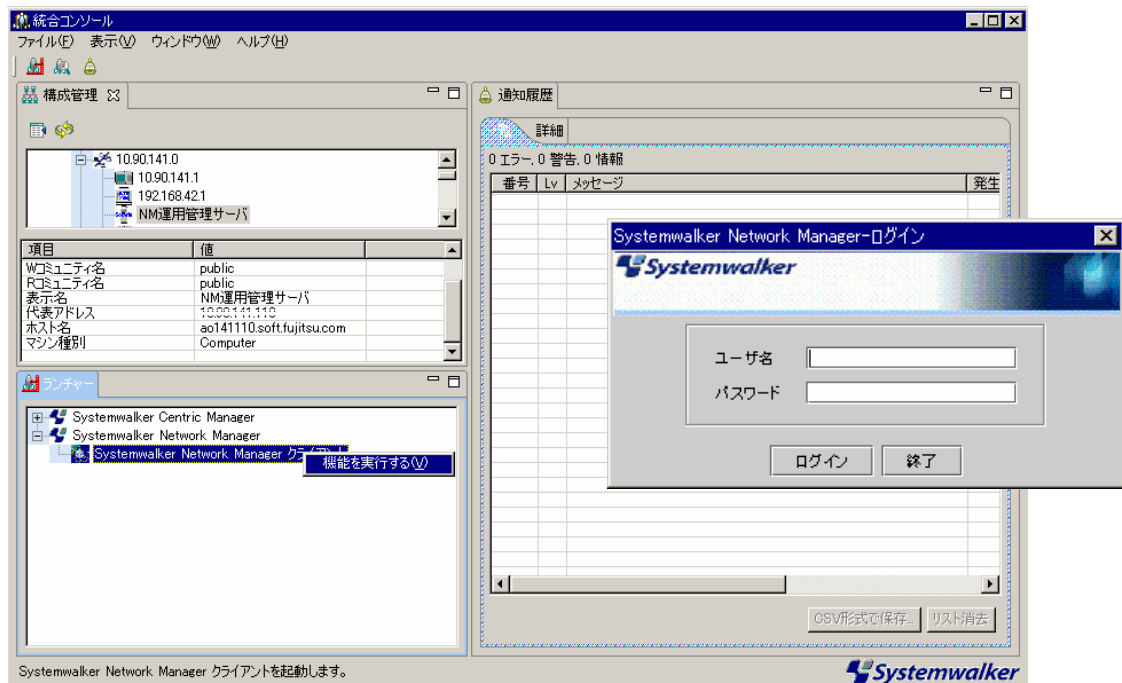


Systemwalker Network Managerには、監視しているネットワークに異常が発生した時に、Systemwalker Centric Managerに通知を行う機能(イベント連携機能)があります。イベント連携については、「Systemwalker Network Manager 使用手引書 9.2 Systemwalker Centric Managerと連携する」を参照下さい。

3.2 Sytemwalker Network Managerクライアントを起動する

以下の手順で、Systemwalker Network Managerクライアントを起動します。

1. 統合コンソールの構成管理画面で、Systemwalker Network Managerクライアントが接続したいサーバを選択しているか確認します。接続したいサーバが選択されていない場合には、構成管理画面のツリーで、接続先のサーバを選択します。
2. 統合コンソールのランチャーから、「Systemwalker Network Manager」-「Systemwalker Network Managerクライアント」を選択し、右クリックで表示されるポップアップメニューから「機能を実行する」を実行し、Systemwalker Network Managerクライアントを起動します。



注意

Systemwalker Network Managerクライアントを起動する際に、Systemwalkerコンソールを起動する際に入力したユーザ名、及びパスワードとは別にSystemwalker Network Manager用のユーザ名、及びパスワードを入力する必要があります。

付録A メッセージリファレンス／保守

A.1 統合コンソールの通知履歴に表示されるメッセージ

◆ メッセージテキスト

Systemwalker Network Manager クライアントの起動に失敗しました。

【メッセージの意味】

Systemwalker Network Managerクライアントの起動に失敗しました。

【パラメタの意味】

なし

【システムの処理】

Systemwalker Network Managerクライアントの起動を中断します。

【対処方法】

【確認ポイント】

なし

【対処】

メモリリソースが枯渇していないことを確認下さい。

また、Systemwalker Network Managerクライアントが実行できるユーザでログインしていることを確認下さい。

【原因】

高負荷等により、メモリの空きがSystemwalker Network Managerクライアントの実行できる範囲になかった。

または、Systemwalker Network Managerクライアントが実行できないアカウントでログインを行っていた。

◆ メッセージテキスト

エラー: Systemwalker Network Manager クライアントプラグインの初期化に失敗しました。

【メッセージの意味】

SSystemwalker Network Managerプラグイン画面の起動時に内部矛盾が発生し、プログラムの初期化が出来なかった。

【パラメタの意味】

なし

【システムの処理】

Systemwalker Network Managerプラグイン画面の起動を中断します。

【対処方法】

[確認ポイント]

なし

[対処]

メモリリソースが枯渇していないことを確認下さい。
運用管理クライアントに、Systemwalker Network Managerプラグインの各ファイルが正しく適用されているか確認ください。

【原因】

高負荷等により、メモリの空きがSystemwalker Network Managerプラグインの実行できる範囲になかった。

または、Systemwalker Network Managerプラグインの各ファイルが正しくインストールされていない。

◆ **メッセージテキスト**

エラー: Systemwalker Network Manager クライアントがインストールされていません。

【メッセージの意味】

Systemwalker Network Managerクライアントがインストールされていません。

【パラメタの意味】

なし

【システムの処理】

Systemwalker Network Manager クライアントの起動を中断します。

【対処方法】

[確認ポイント]

なし

[対処]

Systemwalker Network Managerクライアントをインストール/再インストールしてください。

インストール済みにも関わらずこのメッセージが発生する場合は富士通技術員に連絡下さい。

【原因】

Systemwalker Network Managerクライアントのインストール先を示すレジストリが存在しない。

または、レジストリに登録されたインストール先に、Systemwalker Network Managerクライアントのプログラムが存在しない。

◆ **メッセージテキスト**

情報: Systemwalker Network Manager の運用管理サーバが指定されていません。

【メッセージの意味】

統合コンソールの構成管理ウインドウのツリービューでノードが選択されていない。

【パラメタの意味】

なし

【システムの処理】

Systemwalker Network Managerクライアントの起動を中断します。

【対処方法】

[確認ポイント]

構成管理ウインドウの項目において、Systemwalker Network Managerの運用管理サーバがインストールされているノード情報が表示されているか確認下さい。

[対処]

統合コンソールの構成管理ウインドウのツリービューから、Systemwalker Network Managerの運用管理サーバがインストールされているノードをクリックし、選択された状態にしてください。

【原因】

Systemwalker Network Managerの運用管理サーバが選択されていないため、接続先が特定できない。

A.2 Systemwalker Network Managerクライアントが表示するメッセージ

◆ メッセージテキスト

[ログイン/ログアウト]
サーバと接続できませんでした。

【メッセージの意味】

Systemwalker Network Managerの運用管理サーバとの接続に失敗しました。

【パラメタの意味】

なし

【システムの処理】

Systemwalker Network Managerクライアントの起動を中断します。

【対処方法】

[確認ポイント]

1. 構成管理ウインドウにおいて選択されているノードと運用管理クライアント間のネットワーク接続環境に問題がないか確認する。
2. 構成管理ウインドウにおいて選択されているノードが起動しているか確認する。
3. 構成管理ウインドウにおいて選択されているノードにSystemwalker Network Managerの運用管理サーバがインストールされていることを確認する。
4. 構成管理ウインドウにおいて選択されているノードで、Systemwalker Network Managerが起動されていることを確認する。
5. 構成管理ウインドウにおいて選択されているノードが高負荷状態になっていないか確認する。
6. 統合コンソール画面を再起動後に再度実施しても同じ現象が発生するか確認する。

[対処]

運用管理サーバと運用管理クライアント間のネットワーク接続環境に問題がある場合には、問題を解決後、統合コンソール画面からSystemwalker Network Managerクライアントを再起動します。

構成管理ウインドウにおいて選択されているノードが起動していない場合は該当ノ

ードを起動し、統合コンソール画面からSystemwalker Network Managerクライアントを再起動します。

構成管理ウインドウにおいて選択されているノードにSystemwalker Network Managerの運用管理サーバがインストールされていない場合は、「Systemwalker Network Manager 使用手引書」にしたがってSystemwalker Network Managerをインストールし、統合コンソール画面からSystemwalker Network Managerクライアントを再起動します。

構成管理ウインドウにおいて選択されているノードで、Systemwalker Network Managerが起動していない場合は起動し、統合コンソール画面からSystemwalker Network Managerクライアントを再起動します。

構成管理ウインドウにおいて選択されているノードが高負荷状態になっている場合には、高負荷状態が解消されてから、再度実施します。

【原因】

以下の原因が考えられます。

- 構成管理ウインドウにおいて選択されているノードでSystemwalker Network Managerが起動されていない。
- 構成管理ウインドウにおいて選択されているノードと運用管理クライアント間のネットワーク接続環境に問題がある。
- 構成管理ウインドウにおいて選択されているノードで高負荷状態が発生しており、通信中にタイムアウトが発生した。